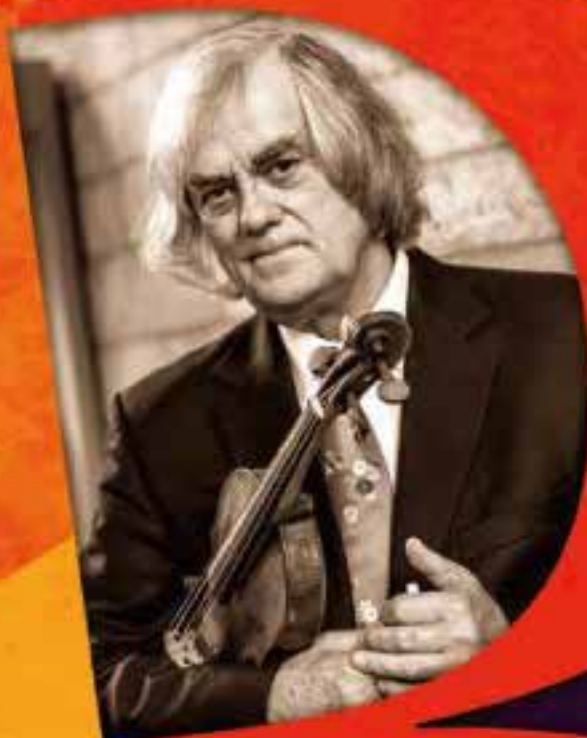


今聴きたい、古楽器オーケストラの最高峰



ACH BAROQUE RILLIANT



ラ・プティット・バンド

MEMBER

バロック・ヴァイオリン I
シギスヴァルト・クイケン

バロック・ヴァイオリン II
サラ・クイケン

バロック・ヴィオラ
マルレーン・ティアーズ

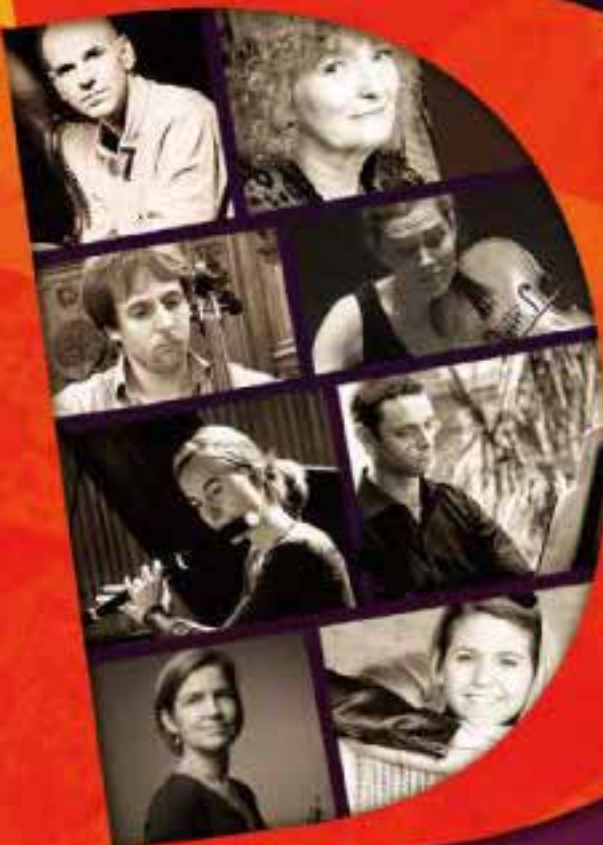
バロック・チェロ
ロナン・ケルノア

バロック・フルート
(フラウト・トラヴェルソ)
アンネ・ブストラウク

バロック・オーボエ
ヴァンシャンヌ・ポウドエイン
オフェル・ブレンケル

チェンバロ
マリオ・サレンチア

ソプラノ
アンナ・グシュヴェンド



管弦楽組曲 第3番 二長調 BWV.1068
(弦楽合奏版)

Overture No.3 in D major, BWV.1068 (without winds)

トリオ・ソナタ

「音楽の捧げ物」 BWV.1079より

The Offering, from "Musikalisches Opfer" BWV.1079

チェンバロ協奏曲 第5番

へ短調 BWV.1056

Concerto for Cembalo No.5 in E minor BWV.1056

カンタータ 満足について

「われ心満ちたり」 BWV.204 (全8曲)

Cantata Von der Vergnügenheit "Ich bin in mir vergög" BWV.204

2017 10/9 (月・祝) 14:00 開演 (13:00 開場) ザ・シンフォニーホール 主催: The Symphony Hall

S席 5,000円 A席 4,000円 (税込) Sinfonia会員先行 2017年5月25日(水) 一般発売 2017年6月3日(土)

(ご予約・お問い合わせ)

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (10:00~18:00火曜定休)
<http://www.symphonyhall.jp>

(プレイガイド)

E+ (イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 326-837]
ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード: 58363] 0570-000-407 (オペレーター対応: 10:00~20:00)

*未成年児童のご入場は別途確認しております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、日程が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



BACH
BAROQUE
BRILLIANT

今聴きたい、古楽器オーケストラの最高峰 ラ・プティット・バンド

🎻 クイケン・ファミリーのサロンへようこそ 🎻

巨匠シグスヴァルト・クイケン率いる「ラ・プティット・バンド」、過去2回のザ・シンフォニーホールへの来訪では、〈ブランデンブルク協奏曲〉や〈管弦楽組曲〉など、J.S.バッハの傑作をズラリと並べ、最高峰の古楽器合奏団としての実力と魅力をいかんなく披露してくれた。今回も、演奏されるのは大バッハばかり。だが、ちょっと趣向は異なっている。なにしろステージにいるのは、古い時代の弦楽器に拠る弦楽四重奏に、古い時代のフルートとオーボエ、チェンバロ、そしてソプラノ。「ラ・プティット・バンド」のエッセンスである。「ほら、これがバッハさ、面白いだろう」とばかりに、合奏曲から協奏曲、はたまたカンタータまで、積み上げた楽譜を次々と弾いてくれる贅沢な時間。楽譜に書かれたことしかできぬ凡百の演奏家なら戯れ事で終わりがかねないが、巨匠の手にかかれば、全ての音が意味を持ち、響きに圧倒的な説得力が生まれるから不思議だ。ザ・シンフォニーホールが、クイケン家のサロンになる。

音楽ジャーナリスト 渡辺 和

シグスヴァルト・クイケン [ヴァイオリン] Sigiswald Kuijken

1944年ブリュッセル生まれ、ブリュッセルの音楽院に学ぶ。独学で17~18世紀の演奏技法を研究、69年あごで楽器を支えず自由に肩に持たせかける奏法を発表し大きな話題となった。72年ラ・プティット・バンド結成。シグスヴァルトは恒久的なリーダーとして精力的な活動を続けている。2004年彼の研究により復元された「ヴィオロンチェロ・ダ・スバッラ」でバッハ時代のチェロ・パートを演奏し注目を集める。71年から96年までハーグ音楽院、同時に93年から2009年はブリュッセルの王立音楽院で教鞭をとっている。2007年2月にルーヴェン・カトリック大学より名誉博士号を授与、2009年2月にはフランドル政府より「生涯功労賞」が授与された。



※来日メンバーとは多少異なります。

ラ・プティット・バンド La Petite Bande

1972年S.クイケンとG.レオンハルトにより結成されたバロック・オーケストラ。その名称と構成は、ルイ14世の宮廷におけるリュリのオーケストラにちなんでいる。結成以来、楽器、演奏法、時代背景等の研究により、普遍的な演奏様式と解釈の分野を切り開いてきた。彼等の録音は幅広く、ラモーとヘンデルのオペラ、J.S.バッハ「ミサ曲短調」「ブランデンブルク協奏曲」、ハイドンの「天地創造」「ロンドン交響曲」全曲などがあり、「マイア受難曲」は、2010年にChallengeレーベルから発売され高く評価されている。

また、ヨーロッパ各地の主要な音楽祭、コンサートホールにも常に登場しており、その自然で美しい演奏はオリジナル楽器によるオーケストラのバイオニアにして最高峰と称されている。

伝統と革新 名門チェコ・フィルの「新世界より」 Czech Philharmonic

イルジー・ビエロフラーヴェク指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」 Op.92

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 「皇帝」 Op.73

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 変ホ調 「新世界より」 Op.95

2017 10.8(日) 2:00PM開演 ザ・シンフォニーホール

S席 19,000円 A席 16,000円 B席 13,000円 C席 10,000円 プレミアム席 25,000円(税込)

【ご予約・お問合せ】

■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonycity.jp>

※未成年のご入場は保護者様のご同意が必要です。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



【ピアノ】アリス・紗良・オット